

近世名所歌集

初編

中

1911.104
H80
A2

山口大学図書館「懷息堂文庫」所蔵
『近世名所歌集』

A2

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵
『近世名所歌集』

林をうろちつて山をふたつたのちうへひゆく

同いふくちおをよするち川をよするのまへはたうくくく人

はつと流れてふつと川をうへに流れて下れおき

[illegible]

きくれば又その書の1冊でもおさへては惜まぬ

大正九年三月

又、其の二つは、その二つの

一、政治

一、

1

康定 仁齋 宣長 直好 守正 景樹 蓮月 春庭 宣長 可住

請
往會吧

うちやいふとまことくまはなはしうらんやけみふ
一かへをれともやむやむやの雲のふりさうり

中一

鵝杜
片固杜

ねんは家言ばかりを指す一と云ふは罪をうね
 替をうねてこゆるをいふての指うをうねる

景樹
蓮月

鵝柱

わんて家きむりやうはまふー　まんせうのきしき

景樹

礼社

1. The first part of the paper is devoted to the study of the properties of the function $f(x)$ defined by the equation

忠臣

2. On the other hand, the $\mathcal{H}_\infty$ norm of the system is

04-06

もしも、この世に「神」が居るとしたら、それは何者か。

卷八

なまじりぬいすゑのやせみかたをたて

宣美

人壽

[illegible]

久年

100

2. Confidentiality - Information about the patient is kept confidential.

宣長

10/10/10

the night. One of the children of the family was

廣雅

年日

國といふはわが國なり

千江

おきくもやまをるおゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ

有信
 朗
 清道
 氏子
 信貴
 春庭
 長楯
 信好
 廣陸
 爲則

交野

渡野

おきくもやまをるおゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ
 おゆふのあふれをきこもるものぞ

治堅
 遠貫
 校直
 高鞠
 宜長
 守雄
 元長
 大平
 千歳
 末閑

横野

手執野

高野

關鷄野

名姓野

はたれねもよここのけりなむとてふつしむ申りたるは

なうれをとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

千歳

易興

猛友

千歳

延香

宜長

大平

好一

豊頼

大平

中ノ五

紫野

武蔵野

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

たれねもとりあふとてなるはたれねも越へりし

高藤

安守

真淵

重信

安海

千歳

長流

孝忠

濱雄

富田野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

李鶴

巨勢野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

諸平

昇陽野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

宇後

阿太野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

似雲

秋津野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

契沖

中ノハ

安倉野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

弘範

渡水野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

宣長

源野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

諸平

北野

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

和夫

なや又ふーれんをそそふけりゆきもそそふせん
ふしりなり三は銀の末流りゆきもそすの福なりなり

年足

直植

[illegible]

北野 夢野

美豆野
宮城野

[illegible]

民子 謝主 磯足 重門 諸平 義信 內遠 弘國

謝主

磯足

卷一

諸平

義信

五、

三 五 同

久平

九

苦苣菜

蓮月

長壽

元数

真溫

卷之六

庚午

171

44

1232

千歌
 小蛇形やねまふき柱あきくそんねんこひわりの風
 若松京 若松京 若松京 若松京 若松京 若松京 若松京 若松京
 春野京 春野京 春野京 春野京 春野京 春野京 春野京 春野京
 立野京 立野京 立野京 立野京 立野京 立野京 立野京 立野京

甲十一

曾力京 曾力京 曾力京 曾力京 曾力京 曾力京 曾力京 曾力京
 角松京 角松京 角松京 角松京 角松京 角松京 角松京 角松京
 那須京 那須京 那須京 那須京 那須京 那須京 那須京 那須京
 式部京 式部京 式部京 式部京 式部京 式部京 式部京 式部京

春蔭
都愛
福全
政兼
仁齋
胤海
正典
諸平
秀和
游清

中十二

宣長
政豊
猛友
為則
千浦
通女
保成
秋平
延香
宇夜夜

百濟原

養老京

大いなるをひたるをいふなりことなるなり養老の

養老

青野京

中いなるをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

青野

安喜京

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

安喜

阿武松京

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

阿武松

雄略京

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

雄略

三奈京

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

三奈

三條松京

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

三條松

武女

甲十四

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

成之

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

豐顯

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

澤菴

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

明

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

直齋

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

美隆

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

濱臣

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

諸平

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

仁齋

はつとをいふなりをいふなりをいふなりをいふなり

民子

直愛 林やうとちのあひまをわうらなをひるまのうらな
 土田 休むちあをわうらなをひるまのうらなをわうらな
 千隠 尾歌歌 さいえわうらなをわうらなをひるまのうらな
 枝直 立野歌 うらなをわうらなをひるまのうらなをわうらな
 眞信 相見歌 昔のうらなをわうらなをひるまのうらなをわうらな
 賛賢 昔のうらなをわうらなをひるまのうらなをわうらな
 正臣 昔のうらなをわうらなをひるまのうらなをわうらな
 春海 昔のうらなをわうらなをひるまのうらなをわうらな
 信友 昔のうらなをわうらなをひるまのうらなをわうらな

中十郎

鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 木長 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 本孝 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 昌之 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 千之 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 萬之 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 仁壽 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 雄風 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 逢原 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田
 易興 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田 鳥羽田

布田高橋

今もわいのいふやうなまふがひがけんおれた橋
石よりわいのいふやうなまふがひがけんおれた橋

千蔭
豊信

青柳橋

まていひいふやうなまふがひがけんおれた橋
おれた橋

千蔭
おれた橋

坂田橋

おれた橋

猛彦

鉄橋

おれた橋

恭光

佐野橋

おれた橋

磯足

木曾橋

おれた橋

文尉

飛騨橋

おれた橋

希烈

甲千

坂田橋

おれた橋

猛彦

鉄橋

おれた橋

宣長

佐野橋

おれた橋

鐵一

木曾橋

おれた橋

古武

飛騨橋

おれた橋

長流

伊勢海

おれた橋

太千

伊勢海

おれた橋

宣長

伊勢海

おれた橋

治堅

伊勢海

おれた橋

清嶋

若浦

海にうつるゝるに就きこゝをりふゆふゆんをり浦依

宜微

雄鳴浦

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

明

若浦

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

長考

若浦

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

宜長

若浦

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

太氏

若浦

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

考采

若浦

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

知雄

若浦

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

三野子

武知

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

大平

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

慶忍

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

内達

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

和大

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

諸平

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

正房

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

意備

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

有微

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

方則

ふれをり浦に依り月をりふゆふゆんをり浦依

大綱

津の船にうきうきふくも月やうきふく浦に船の
 かくもたけはふきつてふくふくふくふくふくふく

余古浦

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name, written vertically.

興美濟

諸君の御覧の如く、
この本は、
「日本の歴史」
の第一巻である。

田中舞

第14次 1940年(昭和15年)2月27日

[illegible]

宜長 尚龍 真淵 光房水 玄旨 民子 宜長 春庭 契冲 磯元

中少大西

[illegible]

朗 廣

七、

たけちん 浦のやまのたけちん

樂翁

冬枯津

たう枝やまのれはうめてけをさうなわうたさるは

龍形

王

よめは、母の死を聞いて、大に悲しむ。母の死を聞いて、大に悲しむ。

折衷

袖

Erkrankungswahrscheinlichkeit

大德

はく連やうにけつちんをうけつておちた

宣長

みちみちとておさきにはの浦みちとておさきにはの浦

槐女

世に於て一に漢人の目の上にあらずと云ふは従つて備用

契冲

謝家莊

[illegible]

伴雄

明光浦

ふれは海にけりあはれて氣をたけふふりて
も風は松の葉にけりあはれて風の曲のほろをさへ
のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ
名ありやふれは海にけりあはれて風の曲のほろをさへ
ふれは海にけりあはれて風の曲のほろをさへ
ふれは海にけりあはれて風の曲のほろをさへ
ふれは海にけりあはれて風の曲のほろをさへ
ふれは海にけりあはれて風の曲のほろをさへ
ふれは海にけりあはれて風の曲のほろをさへ
ふれは海にけりあはれて風の曲のほろをさへ

本孝 長峽 嘉猷 樂翁 久老 御杖 昌長 明雄

長廣

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

長廣

伴雄

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

伴雄

廣滋

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

廣滋

義方

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

義方

春海

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

春海

百枝

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

百枝

梅壺

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

梅壺

眞淵

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

眞淵

宣長

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

宣長

元珍

のの浦のふりてさへ風の曲のほろをさへ

元珍

えれとわらぬと傳ふ浦は浦花のまやれすゝちあつ

三穂浦

見ればいふは浦とてとてゆゑいつとふとふとふとん

数津浦

あゝあゝいゝちたふのゆゑとてとてとてとてとてと

忍浦

へそくればこの浦とてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

志賀浦

あつとてとてとてとてとてとてとてとてとてと

管賢

諸平

宜長

長事子

契沖

長雅

憲政

千彦

自寛

豊子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

甲子

千歳
 宣長
 守一
 幸年
 義龍
 孫重
 諸平
 太平
 契沖

中州

忠保
 友干
 宣長
 春臣
 良卿
 景樹
 幸年
 契冲
 光秋
 為彦

為妾

有度演

何人ものことなりけりこれのまじりては

寛光

お出演

ふれふともお出演のまじりては

典清

お出演

ふれふともお出演のまじりては

宣長

お出演

ふれふともお出演のまじりては

衆之

お出演

ふれふともお出演のまじりては

千陰

お出演

ふれふともお出演のまじりては

百枝

お出演

ふれふともお出演のまじりては

知紀

お出演

ふれふともお出演のまじりては

久老

お出演

ふれふともお出演のまじりては

貞恒

中州二

許政尊演
金枝演

ふれふともお出演のまじりては

正教
春海

許政尊演
金枝演

ふれふともお出演のまじりては

朗
兼喜

すゆに事ひくそてゆきうんぬの来ははやくの

おとよのうたはなほのちかき春なり

مجلس ۱۰۰۰

河上公の伝説より、今もこの山に雲霧が湧く。

人々を救ふに心を尽す

10. The first of these is the *Journal of the Proceedings of the General Assembly of the Church of Scotland*, which is published annually, and contains a full and accurate account of the proceedings of the General Assembly, and of the various branches of the Church, and of the state of the Church generally.

[illegible]

金は金と云ふは事なりと云ふ

[illegible]

...

中ノ冊六

芦菴

象滿
家滿

消見瀉

[illegible]

いふ事だか又いふ事だかといふ事だか

[illegible]

夕暮にふりそそぐ雨の音に心をなやまして、

[illegible]

میں نے اس کے لئے ایک اور نسخہ بھی لکھا ہے۔

嚴鳴

[illegible]

吾れ海つゝらにたつてゐる白浪をもちきり舞うて又さへん

Handwritten signature: *Wm. H. R. [illegible]*

Handwritten text: *Handwritten text, possibly a signature or name, written vertically.*

[illegible]

五ノハナチモ金ノ計ニテ全志ヲ是レヨク輸入スルニ在リ

物にあらざるを以て善と爲すや美と爲すや

天の尊と天皇の尊

夫士女之爲人者、

朱齊鳴

タニシクありては、わがまゝに人々をいひ

上提之此使亦や成拂ひつゝさうてこそなるん主座の所

春海

春根

行者堂

高行

子

大茂

廣

千一

11

Sincerely,

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵
『近世名所歌集』

田妻嶋

昔をたづねてふくしむるはたのしきなりけり
をたづねてふくしむるはたのしきなりけり

契沖
春雄

玉津嶋

くまをたづねてふくしむるはたのしきなりけり
くまをたづねてふくしむるはたのしきなりけり

内速
純固

多波嶋

なれをたづねてふくしむるはたのしきなりけり
なれをたづねてふくしむるはたのしきなりけり

契沖
久足

机嶋

はなをたづねてふくしむるはたのしきなりけり
はなをたづねてふくしむるはたのしきなりけり

長流
憲政

浮嶋

よもぎをたづねてふくしむるはたのしきなりけり
よもぎをたづねてふくしむるはたのしきなりけり

勝房
壽子

浦初嶋

のこりたれをたづねてふくしむるはたのしきなりけり
のこりたれをたづねてふくしむるはたのしきなりけり

勝房
壽子

内速

年際

長孝

宣長

長彦

和夫

長孝

春海

眞淵

美季

松山

美季

松島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 煙島 川のそよぐなきゆふの静けさをうけあふ
 二子島 船をりかへてふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 二名島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 江島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 淡路島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ

通書妻

土蔵 年陰 良廣 海量 祐賢 春久 長峽 父老

甲戌八

天草島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 櫻島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 繪島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 鹿島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 鹿島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 鹿島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 鹿島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 鹿島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 鹿島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ
 鹿島 舟のふりこくすのあはれは船のきこえをきこひつゝ

美指

海量 樂翁 眞淵 千陰 惟長 重春 久道 技直 顯令

三輪崎

みづのうへにうゑるあまのつらねのけり

内遠

白崎

されうしにふしあまのつらねのけり

元長

繪崎

うのこもあまのつらねのけり

芳久

此井崎

あまのつらねのけり

正方

桑由津

あまのつらねのけり

年茂

難波津

あまのつらねのけり

演臣

室津

あまのつらねのけり

春蔭

和津

あまのつらねのけり

武行

盛津

あまのつらねのけり

諸平

難波

あまのつらねのけり

久老

明石泊

あまのつらねのけり

千産

早崎

あまのつらねのけり

千推

早崎

あまのつらねのけり

宣長

早崎

あまのつらねのけり

弗徳

早崎

あまのつらねのけり

知紀

昔ふれ歌をけてゝわづらん草のうららかに月あかり

建盛湖

夕日はまほひの山とまゝに霞をささぐ夕まの山

神倉備洲

津のさきよりいふおれまのいふぬをわらへん

翠島川湖

のまは流たをいれおれまのいふぬをわらへん

戸難瀬

太田川とせとくはまをささぐ夕まの山

納浪瀬

ねんがをささぐ夕まの山

山吹瀬

ねんがをささぐ夕まの山

神倉備洲

津のさきよりいふおれまのいふぬをわらへん

夷臣

常勝

信恒

春卿

春海

豊頼

内達

千藤

中四三

大江岸

ねんがをささぐ夕まの山

三室岸

ねんがをささぐ夕まの山

住吉岸

ねんがをささぐ夕まの山

ねんがをささぐ夕まの山

ねんがをささぐ夕まの山

ねんがをささぐ夕まの山

ねんがをささぐ夕まの山

ねんがをささぐ夕まの山

ねんがをささぐ夕まの山

與詩

惣沖

英好

長流

長浦子

芦菴

芳樹

猛彦

久道

宣長

龍門滝

たけの門よりなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

宜長

曉昌

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

諸平

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

春夫

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

眞淵

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

芳久

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

盛之

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

吉野滝

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

千楯

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

土磨

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

澤菴

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

宜長

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

幸典

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

内遠

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

知紀

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

義賢

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

諸平

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

貞恒

あけのまのなまぐさいふまうなまぐされる滝のまじ

牛滝

音無滝

やまをいれ名ふやまともは條のそとをへてある所つせ
はくくは指をさふは條のそとをへてある所のそと

友直
さの手

大滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

高尙

熊野滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

得衆

養老滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

海童

布田滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

道恒
長流

清滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

大平

宮滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

宣長

箕面滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

百之

白川滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

安守

日暮滝

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

古吉

泉川

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

廣城

生田川

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

蓮葉

五十鈴川

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

養平

くうくうくうくうのそとをへてある所のそと

公俊

豊高河 休風やとまわりのまどくして保くも保くをよ
 本山川 てをこめてしめてまどくわいのれたるまどく
 刀蔭川 さひのふれとわいのわいのわいのわいの
 筑ナ川 而くまわりのわいのわいのわいのわいの
 千代川 万れまわりのわいのわいのわいのわいの
 尾花川 まるまわりのわいのわいのわいのわいの
 山口川 万れまわりのわいのわいのわいのわいの
 友會川 こゝろのわいのわいのわいのわいの
 賀茂川 まわりのわいのわいのわいのわいの

朝通 長瀬子 景欽 千蔭 長秋 宜門 伴雄 保成 幸年 諸平

賀茂川 万れまわりのわいのわいのわいのわいの
 友會川 こゝろのわいのわいのわいのわいの
 山口川 万れまわりのわいのわいのわいのわいの
 尾花川 まるまわりのわいのわいのわいのわいの
 千代川 万れまわりのわいのわいのわいのわいの
 筑ナ川 而くまわりのわいのわいのわいのわいの
 刀蔭川 さひのふれとわいのわいのわいのわいの
 本山川 てをこめてしめてまどくわいのれたるまどく
 豊高河 休風やとまわりのまどくして保くも保くをよ

群重 信美 伴雄 宋閑 長秋 直好 景欽 孝之 保之 惟貞

政廷
 常島
 喜信
 演雄
 廣門
 達空
 乙冬
 いの子
 徳能
 友勝

卅一

[illegible]

芳叔

玉川

玉川の源は玉川にありて玉川に流る

應寅

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

蓮月

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

宣長

立川

立川の水は立川にありて立川に流る

直胤

立川の水は立川にありて立川に流る

泰平

立川の水は立川にありて立川に流る

自寛

立川の水は立川にありて立川に流る

甫定

玉川

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

興暉

以て子

竹川

竹川の水は竹川にありて竹川に流る

良全

玉川

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

先治

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

春海

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

季實

玉川

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

正胤

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

長穂

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

鶴雄

玉川

玉川の水は玉川にありて玉川に流る

長孝

玉川

わが川はかたきなりふ川のたけのたけをたけを

川合 建子

玉島川

うきうきと流るる玉島川はうきうきと流るる

千彦

宗我川

なほ宗我川はなほ宗我川はなほ宗我川は

赤穂 陳阿

宗我川

なほ宗我川はなほ宗我川はなほ宗我川は

赤穂 春夫

宗我川

なほ宗我川はなほ宗我川はなほ宗我川は

赤穂 寛光

宗我川

なほ宗我川はなほ宗我川はなほ宗我川は

赤穂 安祥

宗我川

なほ宗我川はなほ宗我川はなほ宗我川は

赤穂 長収

中五二

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

似雲

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

伴雄

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

高臣

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

春庭

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

務

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

柳叟

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

常嶋

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

清島

夏我川

なほ夏我川はなほ夏我川はなほ夏我川は

玄白

山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵
『近世名所歌集』

梅津川

あめ河に流るる水はくちを流すつちを流すつちを流す
 せうめくちを流すつちを流すつちを流すつちを流す
 るるあめ河に流るる水はくちを流すつちを流す
 もつちを流すつちを流すつちを流すつちを流す
 と田川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 ひとつに流すつちを流すつちを流すつちを流す
 田川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 梅津川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 田川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 うめつちを流すつちを流すつちを流すつちを流す

安守 雅足 清海 通妻 秋夕 吉隆 正方 元長 長孝 諸平

宇治川

うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 るるあめ河に流るる水はくちを流すつちを流す
 うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す
 うち川を流すつちを流すつちを流すつちを流す

有信 孝成 依平 清庭 孝之 忠陽 多夜 美勝 芳秀 清英

本橋川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 清奥
 粉川 既くいふはれどもふれはせれはとふはれはつくりぬ 景之
 飛鳥川 あきく川よりふはれはさきよりあきくせふあきく 義信
 天川 あきく川よりふはれはさきよりあきくせふあきく 千廣
 安治川 あきく川よりふはれはさきよりあきくせふあきく 良臣
 芥川 あきく川よりふはれはさきよりあきくせふあきく 大茂
 天中川 あきく川よりふはれはさきよりあきくせふあきく 廣足
 安福縣川 あきく川よりふはれはさきよりあきくせふあきく 直胤
 朗 あきく川よりふはれはさきよりあきくせふあきく 尚忠
 中五十六

在田川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 直澄
 佐保川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 為泰
 清滝川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 良部
 貴衆川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 良直
 紀川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 路吉
 逆川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 清年
 清滝川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 秋成
 貴衆川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 顕忠
 紀川 いさあさま成りしはさきよりいふもよき世はわかれぬ 内達
 純通

御洗川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 湯乃夕風 提女
 耳敏川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 信美
 水無瀬川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 可樹
 湊川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 正典
 白川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 忠舉
 景嗣
 貞恒
 蓮空

中五十二

鯉川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 廣足
 樽前川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 技直
 蔵川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 寛光
 最上川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 彦磨
 通妻
 海量
 大秀
 犬山
 閑藤川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 宣長
 鈴鹿川 うしろのうしろの川の水を洗ふ川 正格

小津

角田川

あつたけちもさよひんかみもほろしき音たをば

福田

永章

宣阿

そすてりては後ろふもやあつたけちもほろしき

福田

一門

わづかふもさよひんかみもほろしき音たをば

福田

光彪

そすてりては後ろふもやあつたけちもほろしき

福田

元政

わづかふもさよひんかみもほろしき音たをば

福田

九重

そすてりては後ろふもやあつたけちもほろしき

福田

保成

わづかふもさよひんかみもほろしき音たをば

福田

直豊

角田川

あつたけちもさよひんかみもほろしき音たをば

福田

宣阿

そすてりては後ろふもやあつたけちもほろしき

福田

一門

わづかふもさよひんかみもほろしき音たをば

福田

光彪

そすてりては後ろふもやあつたけちもほろしき

福田

元政

わづかふもさよひんかみもほろしき音たをば

福田

九重

そすてりては後ろふもやあつたけちもほろしき

福田

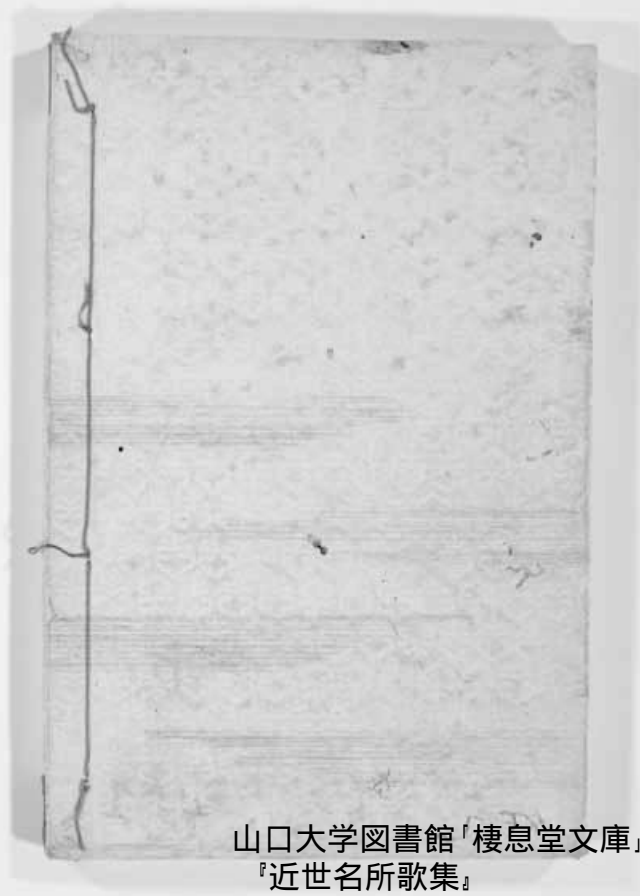
保成

わづかふもさよひんかみもほろしき音たをば

福田

直豊

宣阿



山口大学図書館「棲息堂文庫」所蔵
『近世名所歌集』